

市民のための環境公開講座 25周年記念イベント 「市民のためのSDGsフェス」を開催

損害保険ジャパン日本興亜株式会社、公益財団法人損保ジャパン日本興亜環境財団および公益社団法人日本環境教育フォーラムは、三者共催の「市民のための環境公開講座」の開講25周年を記念して、1月27日に「市民のためのSDGsフェス」を開催しました。

1. 「市民のための環境公開講座」について

より多くの市民の方が環境問題への理解と認識を深め、それぞれの立場で問題の解決に向けて行動できることを目的として、1993年にNGOと企業のパートナーシップ事業の先駆けとしてスタートしました。これまでにのべ2万人の方々に参加いただいています。

同講座は、市民の方々に環境問題について深く考える機会を提供することで、SDGs達成にも寄与するものです。

2. 当日の様子

当日は200名以上の市民の方が参加し、漫才やトークセッション、企業や団体のワークショップを通じて、SDGsを身近に感じてもらうきっかけとなりました。

株式会社よしもとクリエイティブ・エージェンシー所属の芸人、ランパンプスさんによるSDGsを題材にした漫才の後、同じく株式会社よしもとクリエイティブ・エージェンシー所属のガリットチュウさん、東京都市大学の佐藤真久教授、大学生、高校生および中学生が加わり、トークセッションを行いました。参加者は登壇者の体験談を聞きながら、SDGsの基礎について楽しく学びました。

また、SDGs達成に向けて行動している団体・企業・個人による参加型のワークショップや展示ブースが設けられ、参加者はマイクロプラスチック片を使ったアクセサリー作り、フェアトレードの商品購入等により、SDGsに貢献する方法を実践的に学びました。

参加者からは、「SDGsを自分ごととして考えるだけでなく、周囲にも発信していこうと考える良い機会になった」「今後も企業、NGO、団体・個人、それぞれの長所を生かした協働が社会を変えていくことに期待したい」といった声が寄せられ、SDGsへの取組みを進める機会につながりました。

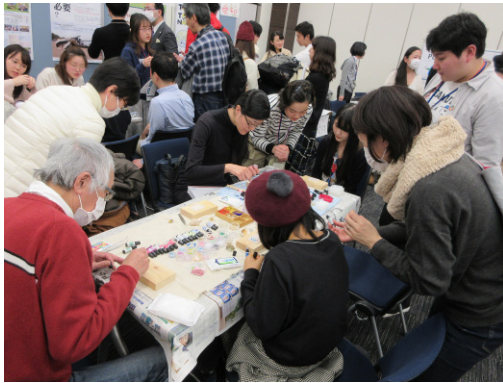
3. 今後について

2019年度の「市民のための環境公開講座」は7月から開講の予定です。今後も本事業を通じてSDGsの達成に貢献していきます。

<トークセッション>



<体験型ワークショップ・展示ブース>



以 上